

# 病害虫発生予報

## 第7号(10月予報)

令和6年9月26日

岐阜県病害虫防除所

### 【予報の概要】

作物名	病害虫名	対象地域名	10月予報
			発生量
なし	黒星病	栽培地域全域	平年並
果樹共通	果樹カメムシ類	栽培地域全域	多
イチゴ	ハダニ類	栽培地域全域	平年並
野菜一般	アブラムシ類	栽培地域全域	少
	ハスモンヨトウ	栽培地域全域	多
	タバコガ類	栽培地域全域	やや多
施設野菜	コナジラミ類	岐阜・西濃地域	多

### 【防除にあたっての注意事項等】

薬剤防除にあたっては、「病害虫・雑草防除指導指針」を参照するとともに、最新の農薬登録情報を確認し、使用基準を遵守してください。

外部リンク：外部リンク：農薬登録情報提供システム（農林水産省）  
<https://pesticide.maff.go.jp/>

### 【発生予報・根拠・注意事項等】

- I 果樹類  
 1 なし

黒星病	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

- (1) 予報の根拠（発生量が多くなる要因を（+）、少なくなる要因を（-）で表記）  
 ア 発病葉率は、岐阜・西濃地域で低く（-）、中濃地域で高かった（+）。  
 イ 発病果率は、岐阜・西濃地域で低かった（-）。  
 ウ 向こう1ヶ月（9/21～10/20）の気象予報によれば、気温は高く（-）、降水量は多い（+）と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項  
 ア 秋期防除を徹底し、次年度の伝染源の発生を抑制する。  
 ※ 病害虫図鑑「なし 黒星病について」もあわせて参考にしてください。

#### 2 果樹共通

カメムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	多

- (1) 予報の根拠  
 ア 予察灯における果樹カメムシ類の成虫誘殺数は、多かった（+）。  
 イ チャバネアオカメムシのフェロモントラップにおける誘殺数は、岐阜・西濃、東濃、飛騨地域でやや多～多く（+）、中濃地域で平年並であった（±）。  
 ウ 被害果率は、カキでは、岐阜・西濃地域で高く（+）、中濃地域で平年並であった（±）。リンゴでは、飛騨地域で高かった（+）。  
 エ 向こう1ヶ月（9/21～10/20）の気象予報によれば、気温は高く（+）、降水量は多い（-）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 夜温が低下すると活動が低下するが、昼間の気温が高いとカメムシ類の加害が続くことがある。

※ 病害虫発生予察注意報第4号「果樹カメムシ類」（令和6年8月23日）、病害虫図鑑「果樹カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

## II 野菜

### 1 イチゴ

ハダニ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

(1) 予報の根拠

ア ほ場での発生量は、認められていない（－）。

イ 向こう1ヶ月（9/21～10/20）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※病害虫図鑑「イチゴ ハダニ類について」もあわせて参考にしてください。

### 2 野菜一般

アブラムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	少

(1) 予報の根拠

ア 黄色水盤での誘殺数は、少なかった（－）。

イ ほ場での発生量は、中濃地域のナスで多く（＋）、トマトでは認められなかった（－）。また、岐阜・西濃、東濃、飛騨地域で、発生は認められなかった（－）。

ウ 向こう1ヶ月（9/21～10/20）の気象予報によれば、気温は高く（－）、降水量は多い（－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※ 病害虫図鑑「ナス アブラムシ類について」もあわせて参考にしてください。

ハスモンヨトウ	対象地域	発生量
	栽培地域全域	多

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップの誘殺数は、岐阜・西濃、東濃地域で多く（＋）、中濃地域で平年並であった（±）。

イ サトイモほ場での発生量は、岐阜・西濃地域で多く（＋）、中濃地域で平年並であった（±）。

ウ 向こう1ヶ月（9/21～10/20）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

※ 病害虫発生予察注意報第3号「ハスモンヨトウ」（令和6年8月23日）、病害虫図鑑「野菜類 ハスモンヨトウについて」もあわせて参考にしてください。

タバコガ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや多

(1) 予報の根拠

ア オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺数は、東濃、飛騨地域で多く（＋）、中濃地域で少なかった（－）。

イ タバコガのフェロモントラップにおける誘殺数は、東濃、飛騨地域で多く（＋）、中濃地域でやや少なかった（－）。

ウ 向こう1ヶ月（9/21～10/20）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

※ 病害虫図鑑「ナス タバコガ類について」もあわせて参考にしてください。

3 施設野菜

コナジラミ類	対象地域	発生量
	岐阜・西濃地域	多

(1) 予報の根拠

ア 岐阜・西濃地域のトマト施設周辺に設置した黄色粘着板への誘殺数は、多かった(+)。

イ 向こう1ヶ月(9/21~10/20)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は多い(-)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア ほ場ごとに発生状況の差があるため、ほ場内をよく観察し、発生が認められる場合は薬剤防除を実施する。

※ 病害虫発生予察注意報第5号「コナジラミ類」(令和6年9月12日)、病害虫図鑑「トマト コナジラミ類について」もあわせて参考にしてください。

[参考資料1]

【9月の調査における病害虫発生量】

作物名	病害虫名	調査地点での発生量：9月			
		岐阜・西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域
大豆	カメムシ類	多	—	少	—
	ハスモンヨトウ	多	—	少	やや少
かき	ハマキムシ類	やや少	やや多	—	—
なし	黒星病	少	多	—	—
果樹共通	果樹カメムシ類	多	多	多	多
イチゴ	ハダニ類	少	少	—	—
夏秋トマト	灰色かび病	—	少	やや少	やや少
野菜一般	アブラムシ類	少	やや少	少	少
	ハスモンヨトウ	やや多	平年並	多	—
	タバコガ類	—	少	多	多
施設野菜	コナジラミ類	多	—	—	—

※調査地点はほ場、予察灯、フェロモントラップ等

[参考資料2]

《用語の基準と使用法》

- 1 半旬 月の1~5日を第1半旬、6~10日を第2半旬と表す。
- 2 時期 平年並 平年値を中心として前後2日以内。  
 やや早い 平年値より3~5日早い。  
 やや遅い 平年値より3~5日遅い。  
 早い 平年値より6日以上早い。  
 遅い 平年値より6日以上遅い。
- 3 発生量 平年並 平年値を中心として、その値が±20%以内。  
 やや多い 平年値より、その値が21~40%多い。  
 やや少ない 平年値より、その値が21~40%少ない。  
 多い 平年値より、その値が41%以上多い。  
 少ない 平年値より、その値が41%以上少ない。
- 4 平年値 同一調査地点における過去10年間の値の平均値。

[参考資料 3]

【東海地方 1 か月気象予報】（抜粋）－名古屋地方気象台 令和 6 年 9 月 1 9 日発表－

《予想される向こう 1 カ月の天候（9 月 2 1 日から 1 0 月 2 0 日）》

- ・期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。
- ・天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
- ・平均気温は、高い確率 8 0 % です。降水量は、多い確率 5 0 % です。日照時間は、少ない確率 5 0 % です。
- ・週別の気温は、1 週目は、高い確率 8 0 % です。2 週目は、高い確率 8 0 % です。3 ～ 4 週目は、高い確率 7 0 % です。

[向こう 1 ヶ月の気温、降水量、日照時間の各等級の確率（%）]

	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
平均気温	10	10	80
降水量	20	30	50
日照時間	50	30	20

[気温経過の各階級の確率（%）]

	低い	平年並	高い
(1 週目) 9/21～9/27	10	10	80
(2 週目) 9/28～10/4	10	10	80
(3 ～ 4 週目) 10/5～18	10	20	70

病害虫防除所ホームページに、病害虫発生予察調査データを公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/2979.html>

主要な病害虫の防除上の注意事項等については、「病害虫図鑑」をご活用ください。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/12933.html>